平成 25 年度財務状況説明資料

財務の概要

平成２５年度決算の概要

【資金収支計算書】

＊（　）内は前年度決算増減額

◎収入の部　　1,616,454,549 円

・学生生徒等納付金収入　　136,139,889 円（増　6,262,934 円）
対予算　　減　6,780,111 円

授業料等の納付金である。高校生徒 13 名減となるも、大学生が 10 名増加したことにより、前年度に対して増収となった。

・手数料収入　　2,230,700 円（増　401,700 円）
対予算　　増　480,700 円

受験者の増加により入学審査料が増額となった。

・寄付金収入　　163,948,380 円（減　5,984,116 円）
対予算　　増　4,791,380 円

A. 特別寄付金―8,482 千円（増　2,017 千円）
a. 2,800 千円（宗務院から東洋文化研究所、行学寮へ）、3,000 千円（同窓会・保護者会）、700 千円（ラオスサポーターズクラブ）、400 千円（ロータス会）、600 千円（各種奨学金）、600 千円（悲母観音造立資金）等

B. 一般寄付金―155,466 千円（減　8,001 千円）
b. 130,000 千円（本山）、18,000 千円（宗務院）、7,466 千円（教育振興資金の寄付金）
教育振興基金への寄付金の減額により、前年度より減額となった。

・補助金収入　　149,537,995 円（増　43,112,507 円）
対予算　　増　856,995 円

A. 国庫補助金―106,826 千円（増　43,449 千円）
a. 教育活性化設備事業、同改革総合支援事業へ 25,681 千円、各種情報登録 3,500 千円、その他補助金基準の変更等

B. 県からの補助金―42,712 千円（減　336 千円）

・資産運用収入　　21,391,306 円（増　15,252,445 円）
対予算　　増　6,525,306 円

運用商品の変更を行った有価証券（第 3 号基本金）の配当金増加によるもの。

・事業収入　　9,916,011 円（増　668,483 円）
対予算　　減　863,989 円

行学寮・女子寮の寮費収入、通信講座登録料、自動販売機手数料等を予算計上。行学寮生 24 年度 10 名、25 年度 11 名 1 名増によるもの。

・雑収入　　6,577,823 円（減　3,305,150 円）
対予算　　増　1,927,823 円

24 年度と、25 年度の退職者への退職金額の差額によるもの。

・前受金収入　　47,995,000円（増　7,288,000円）
対予算　　増　10,490,000円
学生・生徒の翌年度分納付金であるが、学生数の増加により、増額となった。

・その他の収入　　1,129,340,680円（増　996,885,183円）
対予算　　増　1,025,755,680円
預かり納付金、研修旅行預り金、その他の支出と両建て勘定である。
有価証券(第3号基本金)の 運用商品の変更を行ったことにより、入出金が動いたもの。支出の資産運用支出に反対勘定を計上。

＊（　）内は前年度決算増減額

◎支出の部　　1,616,454,549円

・人件費支出　　329,922,398円（減　3,249,279円）
対予算　　減　9,777,602円
教員人件費は3教授復帰により対前年4,838千円増額するも、職員人件費、退職金支出合計8,187千円減額により、対前年減額となった。

・教育研究費支出　　67,208,698円（増　1,911,954円）
対予算　　減　12,652,302円
認証評価関連費2,625千円の発生により対前年増額。

・管理経費支出　　56,665,234円（増　6,926,702円）
対予算　　減　6,479,666円
福利厚生費936千円、留学生への補助活動費1,848千円、雑費(下水解体工事)2,628千円の増額による。

・借入金等利息支出　　214,792円（減　76,707円）
対予算　　減　5,208円
女子寮建設費の借入金利息支出。

・借入金等返済支出　　14,471,753円（増　674,637円）
対予算　　減　28,247円
女子寮建設費及び実習棟建設のために山梨中央銀行、身延山久遠寺よりの借入返済金。

・施設関係支出　　5,527,600円（増　2,988,700円）
対予算　　減　762,400円
下水道配管工事費3,700千円等による増額。

・設備関係支出　　26,934,919円（増　17,468,755円）
対予算　　減　201,181円
教育活性化設備事業への15,681千円の増額による。

・資産運用支出　　1,002,050,027円（増　1,002,049,258円）
対予算　　増　1,002,050,027円
有価証券(第3号基本金)の 運用商品の変更を行ったことにより、入出金が動いたもの。収入のその他の収入に反対勘定を計上。

・その他の支出　　117,332,047円（減 6,853,382円）
対予算　　増　41,442,047円
収入の部のその他収入に計上の預り金･研修旅行費預り金等である。

・次年度繰越支払資金　　5,757,254円（減　12,930,358円）
対予算　　増　3,457,642円

【消費収支計算書】

◎消費収入の部　　446,416,519円

消費収入とは本学帰属収入より基本金組入れ額控除後の本学園で消費することができる収入のことである。本学の帰属収入とは収支計算書記載の雑収入までの収入であり、更に寄付金について現物寄付金を含み、本学園に帰属する収入金額のことである。

・帰属収入　　493,138,272円（増　59,608,896円）
　　対予算　　増　5,334,272円

帰属収入は、寄付金5,936千円減額となるも、学生生徒納付金6,263千円、補助金43,112千円の増額となり合計56,609千円の増額となった

・基本金組入れ額　　46,721,753円（増　46,721,753円）
　　対予算　　増　16,181,753円

当期に発生した資産への組入れ。

・消費収入合計　　446,416,519円（増　12,887,143円）
　　対予算　　減　10,847,481円

493,138,272円－46,721,753円＝446,416,519円

◎消費支出の部　　509,422,268円

・人件費　　333,286,398円（増　737,781円）
　　対予算　　減　6,413,602円

・教育研究経費　　109,636,204円（増　960,573円）
　　内 減価償却費　　42,427,506円
　　対予算　　減　33,224,796円

・管理経費　　65,927,833円（増　7,489,338円）
　　内　減価償却費　　9,262,599円
　　対予算　　減　15,217,067円

・消費支出合計　　509,422,268円（減　2,962,983円）
　　対予算　　減　54,999,732円

消費支出とは人件費、教育研究費、管理経費、借入金等利息、資産処分差額、更に有形固定資産の当年度減価償却費を加算した金額である。

・当年度消費支出超過額　　－63,005,749円（減　15,850,126円）

消費収入446,416千円より、消費支出509,422千円を控除した差額である。この超過額が当該年度の収入不足額、所謂、赤字額である。

【貸借対照表】

(1) 資産の部

教育研究用機器備品13,226千円、図書9,305千円増額となるも、減価償却が41,843千円あることから、固定資産は19,772千円減額した。流動資産は現金・預金が12,930千円減額、未収入金が17,364千円増額になり、5,483千円増額となった。資産合計額2,839,135千円であり、対前年14,288千円の減額になった。

(2) 負債の部

長期借入金の返済により固定負債が11,815千円減額するも、前受金・預かり金等の増額により流動負債が13,810千円増額し、負債の部合計では1,996千円増額となった。

(3) 基本金の部

1号基本金への繰り入れにより46,722千円の増額になった。

(4) 消費収支差額の部

消費収支差額の部合計額はマイナス額が前年度より63,006千円増額した。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計では2,839,135千円となり、資産の部と一致する。